

解答

(1) ④ what (2) ⑤ shown (3) ⑪ to
(4) ⑥ complex (5) ① worried (6)
⑬ knowing (7) ⑨ that (8) ⑧
produced (9) ⑩ exists (10) ②
why (11) ⑭ created (12) ⑦ for
(13) ⑮ who (14) ③ through (15)
⑫ necessary

解答解説

(1) 正解 ④ what

what S think is ～ は「S が～だと思
うもの」という名詞節を作ります。what
they think is a dog's "guilty look"
全体が identify の目的語です。what
はこの節の中で is の主語の働きもして
おり、the thing which に近い意味を持
ちます。

(2) 正解 ⑤ shown

空所の前に has、後ろに that 節 があるので、show that S V「S が V であることを示す」の現在完了形が必要です。show
の過去分詞は shown なので、science
has shown that ...「科学は～であることを示してきた」となります。

(3) 正解 ⑪ to

a reaction to ～ は「～に対する反応」という表現です。reaction の後ろには前置
詞 to が用いられます。a reaction to
the owner's body language で「飼
い主のボディランゲージに対する反応」と
なります。

(4) 正解 ⑥ complex

空所は冠詞 a と名詞 emotion の間に
あるため、名詞を修飾する形容詞が必要で
す。complex は「複雑な」という形容詞で、
a relatively complex emotion「比較
的複雑な感情」となります。relatively は

complex を修飾する副詞です。

(5) 正解 ① worried

be worried that S V は「S が V するの
ではないかと心配している」という表現で
す。空所の前に is simply、後ろに that
節があることが判断のポイントです。ここ
では「犬は自分が罰せられそうだと単に心配
している」となります。

(6) 正解 ⑬ knowing

前置詞 without の後ろなので、動詞
know は動名詞 knowing にする必要
があります。without knowing what
it's done wrong で「自分が何を間違っ
たのか分からないまま」となります。what
以下は knowing の目的語となる名詞節
です。

(7) 正解 ⑨ that

the notion that S V の that は、名詞
notion「考え・概念」の具体的な内容を説
明する同格の that です。the notion
that religion is a force ... で「宗教は
～という力であるという考え」となります。
that は節の中では文の成分になりません。

(8) 正解 ⑧ produced

a force produced by cultural
evolution では、produced by ... が直
前の名詞 force を後ろから修飾していま
す。「文化的進化によって生み出された力」
という受動関係なので、過去分詞
produced が適切です。

(9) 正解 ⑩ exists

空所は that it primarily () to
produce ... の述語動詞の位置です。主
語 it は religion を指す三人称単数な
ので、現在形は exists となります。
exist to V で「V するために存在する」と
いう意味です。

(10) 正解 ② why

explain why S V は「なぜ S が V するのかを説明する」という表現です。why religions are in decline ... は間接疑問の名詞節となり、explain の目的語です。why の後ろは疑問文語順ではなく S + V の語順になります。

(11) 正解 ⑭ created

空所は主語 human societies の述語動詞で、後ろの and devised と並列関係になっています。devised が過去形なので、ここにも過去形 created が入り、created nations, and devised mechanisms「国家を作り、仕組みを考案した」となります。

(12) 正解 ⑦ for

mechanism for ~ は「~のための仕組み・制度」という表現です。mechanisms for self-governance で「自治のための仕組み」となります。空所の前の mechanisms と後ろの self-governance の関係から前置詞 for を判断します。

(13) 正解 ⑮ who

空所の後ろに were so effective ... という述語が続いており、先行詞は the gods です。人・人格を持つ存在を先行詞とする主格の関係代名詞 who が入り、the gods who were ... 「~であった神々」となります。

(14) 正解 ③ through

through ~ はここでは「~を通じて・~によって」という手段を表します。enforcing group norms and ethical behavior through punishment で

「罰を通じて集団の規範や倫理的行動を守らせること」となります。

(15) 正解 ⑫ necessary

空所の前に as があるので、as + 形容詞の形が必要です。were no longer as necessary で「もはやそれほど必要ではなかった」となります。no longer は「もはや~ない」を表し、社会制度の発達によって神々の役割の必要性が低下したことを示しています。

全訳

(A)

多くの飼い主は、自分たちが犬の「罪悪感のある表情」だと思っているものを見分けます。しかし科学によって、それは実際には、その瞬間の飼い主のボディランゲージに対する反応であることが示されています。罪悪感は比較的複雑な感情です。犬は、自分が何を悪いことをしたのか分からないまま、ただこれから罰せられるのではないかと心配しているだけなのです。

(B)

宗教は文化的進化によって生み出された力であり、主として個人や集団に実際的な利益をもたらすために存在する、という考え方によって、世界の一部の地域で宗教が衰退している理由を説明することができます。人間社会が国家を作り、自治のための仕組みを考案するにつれて、罰を通じて集団の規範や倫理的行動を守らせるうえで非常に大きな力を発揮していた神々は、もはやそれほど必要ではなくなったのです。

構文解説

(A)

① Many owners identify what they think is a dog's "guilty look"
Many owners / identify / what (they think) is a dog's "guilty look". 文の骨格は S+V+O。what 節全体が identify の目的語で、they think は挿入的に考えるとよい。what は is の主語で、「飼い主が犬の『罪悪感のある表情』だと思っているものを見分ける」。

② but science has shown that this is actually a reaction to the owner's body language at that moment

science / has shown / that this is actually a reaction to ~ . show that S V「S が V であることを示す」で、that 節全体が shown の目的語。a reaction to A は「A に対する反応」で、to は reaction と結びつく前置詞。

③ Guilt is a relatively complex emotion.

Guilt / is / a relatively complex emotion. 文型は SVC で、Guilt = a relatively complex emotion の関係。relatively(副詞)→ complex(形容詞)→ emotion(名詞)と順に修飾している。

④ The dog is simply worried that it's about to be punished

The dog / is worried / that it's about to be punished. be worried that S V「S が V するのではないかと心配する」。that 節内は be

about to V「今にも V しようとしている」と受動態 be punished「罰せられる」の組み合わせ。

⑤ without knowing what it's done wrong

without / knowing / what it's done wrong 前置詞 without の後ろなので V-ing。what it's done wrong は「自分が何を悪いことをしたのか」という間接疑問で、what 節全体が knowing の目的語となっている。

(B)

① The notion that religion is ..., and that it primarily exists ... can explain why ...

The notion [that A, and that B] / can explain / why C. 長い文だが、中心骨格は The notion / can explain / why C。2つの that 節はともに notion の具体的な内容を説明する同格節で、why 節は explain の目的語。

② religion is a force produced by cultural evolution

religion / is / a force [produced by cultural evolution]. 基本は SVC。produced by cultural evolution は過去分詞句で直前の force を後ろから修飾し、「文化的進化によって生み出された力」という受動関係を表す。

③ and that it primarily exists to produce functional benefits to individuals and groups

it / primarily exists / to produce functional benefits to ~ . to

produce は「～を生み出すために」という目的を表す副詞的用法の不定詞。前の that religion is ... と and that it ... が並列され、ともに notion の内容を説明している。

④ can explain why religions are in decline in some parts of the world

can explain / why religions are in decline ~ explain why S V 「なぜ S が V するのかを説明する」。why 節は間接疑問の名詞節で explain の目的語。be in decline は「衰退している」という表現。

⑤ As human societies created nations, and devised mechanisms for self-governance

As / human societies / created nations and devised mechanisms ~ ここでの **as は「～するにつれて」**という変化を表す接続詞。created と devised が and で並列され、mechanisms for self-governance は「自治のための仕組み」。

⑥ the gods who were so

effective at enforcing group norms and ethical behavior

the gods [who were so effective at enforcing ~] who は the gods を先行詞とする主格の関係代名詞。be effective at V-ing「V するのに効果的である」で、at の後ろなので enforcing と動名詞になる。

⑦ enforcing group norms and ethical behavior through punishment

enforce A through B「B を通じて A を守らせる・実施する」。A = group norms and ethical behavior、B = punishment。through はここでは「～を通じて」という手段を表す前置詞。

⑧ the gods who ... were no longer as necessary

the gods [who ~] / were / no longer as necessary. 主語 the gods と動詞 were の間に長い関係詞節が挿入されている。まず the gods / were / necessary という SVC の骨格をつかむ。no longer「もはや～ない」、not as ~「それほど～ではない」の意味で、「神々はもはやそれほど必要ではなかった」となる。